

三木市記者発表資料 (令和5年4月14日発表)			
担当部課名	担当長	担当係	電話番号
総合政策部 縁結び課	課長 成瀬拓生 (内線 2382)	地方創生係	0794-82-2000 (内線 2484)

タイトル
近畿大学×大塚食品@三木東高等学校での環境・食育学習 「これからの社会」(プラントベースフード*で学ぶSDGs)
内容
<p>三木市では、2019年に連携協定を締結した株式会社官民連携事業研究所との協働事業として、SDGs推進に向けたフードロス削減及び地域食材を生かした新メニュー作りで大塚食品株式会社とともに取り組んでいます。</p> <p>このたび、第3弾の企画として、昨年度11月に実施した小学5年生対象のSDGsの授業に続き、今回は、三木東高等学校においてアントレプレナー授業を行い、近畿大学保本講師及び大塚食品株式会社の講義を通じて新たな生徒の学びを支援します。</p> <p>1 日時 4月14日(金) 午後1時25分から(5,6限目)</p> <p>2 講師 近畿大学総合社会学部 保本講師、大塚食品株式会社</p> <p>3 対象 三木東高等学校 3年生 45名</p> <p>4 内容</p> <p>大豆ミートを通じて「環境問題」「食糧問題」等について考え、これから未来を生きる子どもたちに知識の習得だけでなく、大人たちが取り組む具体的な活動や商品を通じて環境への関心、配慮の気持ちを養ってもらう機会や、地域資源を生かした新たなメニューを開発するアクティブラーニングを通じた学びの機会を創出します。</p> <p>※プラントベースフードとは、動物性原材料ではなく、植物由来の原材料を使用した食品のこと。このような植物由来の原材料を使用し、畜産物や水産物に似せて作られていることが特徴である。(消費者庁資料文引用)</p>
セールスポイント
<p>令和3年度は、第1弾の取組としてフードロス削減に向けて賞味期限が迫っている飲料水『MATCH』を市内イベント等で配布し、COOL CHOICEを推進しました。また、第2弾は、公民連携による持続可能な社会構築に向けて、大塚食品株式会社と近畿大学と連携した授業を実施し、未来を生きる子どもたちが、企業や大人たちの「環境問題」や「食糧問題」に対する取組などに触れ、自分事として考える新たな学びの機会をつくりました。第3弾は、地域食材とプラントベース食品による新メニュー開発に向けて、チームの仲間と協力し、考え、形にする高校生のチャレンジをサポートします。</p>